

連載

循環器ナースのための

# カテーテル講座

～ 指導する側・される側 Win/Win カテ室看護 ～

執筆 澤海綾子 (新久喜総合病院 看護部)

第5回 各職種の心のなかを覗いてみよう!	
今回の内容	先輩看護師の「行動」と「思考」を理解しよう
	他職種の「行動」と「思考」を知ろう
	カテーテル業務のポイントを理解しよう



## 新人さんの目標

- 「なぜその行動をとるのか?」先輩看護師の動きから根拠を学ぼう!
- 他職種の動きを知り、業務の重複と邪魔を避けよう!



## 指導者の目標

- カテ室では、各職種がバラバラに動くのではなく、「連携」が大事なことを教えよう!
- 患者は人間である。ケースバイケースの対応を教えよう!

## はじめに

PCI中は何を中心に考えて行動していくべきでしょうか? 患者さん中心でしょうか? 医師

(手技) 中心でしょうか? そのどちらかに偏ることなく、「患者さんにとって」「医師(手技)

にとって」の2つの視点を持ちながらカテーテル室(以下、カテ室)業務は進んでいきます。他職種との関係が業務アウトカムに影響するため、各業務段階でのお互いの考えを理解し視野を広く持つ必要があります。

今回は、チーム医療として本領が発揮されるように、各職種の心のなかを覗いてみる内容としま

した。当院の橈骨動脈穿刺時の待機(予定)カテーテル時の様子について解説します。主な役割は、看護師は記録と外回り、臨床工学技士は血管内超音波(intravascular ultrasound; IVUS)操作とデバイス出し、診療放射線技師はセカンド業務(カテーテル台操作とデバイス介助)です。

## 入室

### 患者中心の視点

看護師



患者間違えはないかな? 必要書類は揃っているかな? 緊張具合はどうかかな? 必要な前投薬は投与されたかな? 家族は間に合ったかな?

臨床工学技士



入室方法は正しいか? ストレッチャー? スムーズに移動させるために介助しないと。輸液ポンプがついていたら、カテ台を動かしてポンプの位置を調整しよう。

診療放射線技師



シネ装置やカテ台帳の患者登録が間違っていないか確認しよう。

### 医師(手技)中心の視点

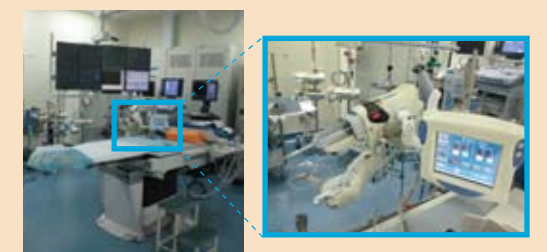
診療放射線技師



患者さんの入れ替え時はインジェクター(図1)交換を素早く行いたい。管球に滅菌カバーをかけよう。患者さんの入室前までに、デバイス(シースやワイヤーなど)に水通しをすませないと。

→インジェクター: 血管造影を行う際に、造影剤を定量的かつ正確に血管内に注入する機械のことです。カテーテルに使用するデバイス(道具)はすべて水通しをし、体内に空気が混入しないように準備をしておきます。

図1 インジェクター



### 新人さんのポイント



入室時は患者間違えが起きやすいので、必ず本人確認のため氏名と生年月日を口頭で言ってもらいましょう。

### 指導者のポイント



患者確認は、コメディカル同士で声を出して行いましょう。患者さんと会話することで緊張具合も推測できます。